

「公衆衛生」第78巻総目次

2014年(第1号～第12号)

数字は通巻頁数, ()は号数

特 集

◆ 78巻1号「公衆衛生の原点を学ぶ」

イギリスにおける公衆衛生の歩みと新たな展開—パブリックヘルス・イングランド: 高鳥毛敏雄, 6(1)

NHS改革による地方自治体を基盤とする新たな地域保健体制の確立に向けて: 堀真奈美, 14(1)

イギリスの地域看護師の歩みと医師職との関係: 白瀬由美香, 20(1)

西欧の公衆衛生制度をわが国は移植できたのか: 尾崎耕司, 24(1)

19世紀イギリス衛生行政の経験—ローカルな“公共”の形成をめぐる: 永島剛, 28(1)

イギリスにおけるソーシャルサービスの発展の歴史: 岡田忠克, 32(1)

◆ 78巻2号「予防接種」

予防接種と公衆衛生: 岡部信彦, 70(2)

予防接種行政に求められていること: 中山ひとみ, 75(2)

予防接種とこどもの健康—接種スケジュール: 田中敏博, 80(2)

副反応報告と救済制度: 多屋馨子, 86(2)

ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチン: 齋藤昭彦, 93(2)

子宮頸がん予防ワクチン: 戸澤晃子・鈴木直, 97(2)

BCG接種: 徳永修, 103(2)

ポリオ根絶に向けた世界の現状と不活化ポリオワクチンの導入: 中野貴司, 109(2)

◆ 78巻3号「出生前診断」

出生前診断の現状—進歩と課題: 澤井英明, 146(3)

胎児心臓病の出生前診断と治療: 松井彦郎, 153(3)

着床前診断の現状—進歩と課題: 末岡浩, 158(3)

出生前診断と着床前診断の倫理問題: 苛原稔・桑原章, 163(3)

遺伝カウンセリング: 三宅秀彦・小杉眞司, 167(3)

出生前診断をどうとらえるか: 玉井邦夫, 172(3)

出生前診断・着床前診断と優生学: 山口裕之, 176(3)

出生前診断の法律問題: 丸山英二, 181(3)

◆ 78巻4号「自殺・自死対策」

わが国における自殺の原因分析と自殺対策の展望: 竹島正・山内貴史・松本俊彦, 230(4)

地方自治体の自殺対策の効果の評価と今後の展望: 本橋豊, 236(4)

世界の自殺対策と日本の自殺対策: 高橋祥友, 241(4)

自死遺族支援の重要性と取り組みの現状: 杉本脩子, 247(4)

自殺未遂者などのケアの重要性と地域における支援のあり方: 桑原寛, 252(4)

救急医療における自殺未遂者ケアの現状と展望: 三宅康史, 256(4)

うつ病・自殺対策における一般診療科の役割と精神科との連携: 稲垣正俊, 264(4)

若者の自殺予防のための支援のあり方: 斎藤環, 269(4)

◆ 78巻5号「NCD(非感染性疾病)対策」

途上国におけるNCD(非感染性疾病)対策の現状と今後の展望: 神馬征峰, 302(5)

イングランドのNCD対策—心血管疾患アウトカム戦略を中心に: 松田亮三, 307(5)

わが国の非感染性疾病(生活習慣病)対策の歩みと今後の展望: 岡村智教, 312(5)

日本の健康政策の概要と目標—健康日本21(第二次)を中心に: 野田博之, 317(5)

わが国のNCDリスクにかかわる研究体制と対策の現状: 今野弘規・丸山皆子・磯博康, 324(5)

NCD対策におけるたばこ対策の重要性: 中村正和, 331(5)

わが国のがん検診の現状と展望—諸外国の動向との比較: 祖父江友孝, 337(5)

地域におけるNCD対策の現状と課題について—沖縄県の場合: 国吉秀樹, 342(5)

◆ 78巻6号「発達障害」

発達障害に関する最近の動向: 市川宏伸, 374(6)

障害特性に応じた支援のあり方—地域連携ネットワークによる支援: 辻井正次, 378(6)

発達障害者支援センターの取り組み: 阿佐野智昭,

382(6)
幼少時期の発達障害とスクリーニング—早期発見と早期支援：平岩幹男, 388(6)
思春期・青年期の発達障害者支援, 二次障害への対応：齊藤万比古, 392(6)
発達障害者支援における教育機関との連携：栢植雅義, 396(6)
発達障害児の家族への支援：井上菜穂・井上雅彦, 402(6)
発達障害者への就労支援：志賀利一, 406(6)
子どもの心の診療に携わる医師等の育成—子どもの心の診療ネットワーク事業：奥山眞紀子, 410(6)
◆78巻7号「行為への依存症—スマホ・ネット・ギャンブル」
行為への依存とは何か：渡辺登, 446(7)
インターネット依存：中山秀紀, 452(7)
スマホ依存症・オンラインゲーム依存症：岩崎正人, 457(7)
ギャンブル依存症：田辺等, 462(7)
窃盗, 買い物依存, 性的問題に関する嗜癖行動に対する治療の現状と課題：大石雅之, 467(7)
行為・プロセス依存の家族への理解と対応—性的嗜癖行動を中心に：齊藤章佳, 473(7)
つながり依存としてのネット依存—社会心理的な背景から現状を考える：土井隆義, 479(7)
◆78巻8号「公害・環境問題の変貌と新展開」
日本の公害対策と環境政策—その歴史的教訓を将来のために：宮本憲一, 518(8)
環境問題の変遷と環境研究の新たな展開：住明正, 522(8)
越境大気汚染と大気汚染・気候変動コベネフィット・アプローチ：秋元肇, 527(8)
室内空気汚染対策に関する世界的動向と今後の展望：東賢一, 533(8)
放射性物質の環境動態に関する知見整理とその活用：古米弘明, 541(8)
環境化学物質の次世代影響—出生コホート研究による成果と今後の課題
：岸玲子, 547(8)
電磁界の健康影響評価に関する研究成果と課題：山口直人, 553(8)
低周波音の健康影響の評価に関する課題と今後の展望：岡田健, 558(8)
◆78巻9号「超高齢社会—大都市の高齢者支援の課題」
首都圏における高齢者人口と世帯数の将来推計：鈴木

透, 590(9)
大都市における高齢者異状死の実態と課題：福永龍繁, 596(9)
大都市における高齢者の生活破綻の現状と課題：西垣千春, 601(9)
超高齢社会における高齢者の医療・介護体制の現状と将来ビジョン：松田晋哉, 606(9)
大都市における高齢者の在宅ケア—現状と課題：黒田研二, 612(9)
高齢社会の都市住宅政策：平山洋介, 617(9)
大都市における生活困窮者の在宅ケア：山下眞実子, 623(9)
大都市における在宅医療者に対する地域医師会の役割と実践：中村正廣, 627(9)
高齢社会における災害対策の課題：室崎益輝, 633(9)
◆78巻10号「認知症のケア」
認知症を取り巻く最近の動向：朝田隆, 662(10)
認知症をめぐる5つの誤解—ケアの流れを変える：大熊由紀子, 666(10)
地域包括ケアシステムにおける認知症高齢者への支援のあり方：筒井孝子, 672(10)
認知症の人・家族を支える住まいと居場所：大島千帆, 678(10)
認知症の人の支援—初期集中支援チームと精神科医療供給体制：上野秀樹, 683(10)
【認知症の支援 地域の最前線から】認知症を地域で支える—東京都世田谷区での取り組み：高橋裕子, 689(10)
【認知症の支援 地域の最前線から】ポンポコリン勉強会からプロジェクト若狭へ—保健・福祉・医療の最強タッグ：高島久美子, 693(10)
認知症の予防：島田裕之, 698(10)
認知症の診断・治療と今後の展望：遠藤英俊, 703(10)
◆78巻11号「脳血管疾患最前線」
わが国の脳血管疾患の現状と動向：綿引信義, 734(11)
脳血管疾患の危険因子と発症予防：村木功・磯博康, 739(11)
脳血管疾患予防と食事：大櫛陽一, 745(11)
脳血管疾患発症予防のための新しい検査手法・バイオマーカー：桑原和代・岡村智教, 749(11)
脳卒中の最新情報—医療・介護連携と治療：藤本俊一郎・川西正彦, 757(11)
脳血管疾患の最新のリハビリテーション：水野勝広・

里宇明元, 763(11)

脳血管疾患を予防する食品：千葉剛・梅垣敬三, 771(11)

◆ 78 卷 12 号「医療・介護の制度改革」

わが国の医療・介護の将来像と制度改革の方向性—社会保障制度改革国民会議での議論を踏まえて：中村秀一, 806(12)

医療計画の評価と今後の課題：武藤正樹, 811(12)

地域医療構想の論点と課題：島崎謙治, 815(12)

地域医療データの重要性和その活用—実効性の高い地域医療ビジョン策定のために：村上正泰, 821(12)

新しい医療計画等の推進に係る医師会の役割：今村聡, 826(12)

新しい地域医療計画等の推進に係る保健所の役割：石丸泰隆, 831(12)

国民健康保険の制度改革の方向性と課題：尾形裕也, 837(12)

介護保険制度改革—これまでの評価と今後の改革に向けた課題：小山秀夫, 841(12)

医療・介護サービスの一体改革と地域包括ケア—柏プロジェクトを通して：辻哲夫, 847(12)

視 点

地域保健活動の再構築—ソーシャル・キャピタルの醸成と協働の重要性：笹井康典, 2(1)

あの大震災が公衆衛生に変革をもたらす：鈴木宏俊, 66(2)

保健所の現場から—原子力発電所立地保健所からの提言：荒木均, 142(3)

保健所公衆衛生医師の役割：佐々木隆一郎, 226(4)

地域包括ケアと保健所医師：宇田英典, 298(5)

公衆衛生的視点で健康なまちづくりを：廣田洋子, 370(6)

在宅医療・地域包括ケアシステムの推進は公衆衛生の重要なテーマ：大江浩, 442(7)

公衆衛生活動と中核市保健所：犬塚君雄, 514(8)

保健所の現場から—先生と駐在保健婦さん：豊田誠, 586(9)

公衆衛生だからできること—^{いのち}^{まも}るを衛る医師を募集しています：明石都美, 658(10)

学校におけるフッ化物応用にみる保健所長のリーダーシップ：瀧口俊一, 730(11)

健康危機管理と保健所—地域におけるネットワーク：久保秀一, 802(12)

特別寄稿

未来図を描く公衆衛生活動 in 陸前高田 ④【最終回】

公衆衛生は触媒産業：佐々木亮平・岩室紳也, 188(3)

ワクチンの生命は品質である：倉田毅, 416(6)

Topics

地道な思春期保健活動 第 65 回保健文化賞団体賞受賞—子どもたちの健やかな成長発達を支え続けて 25 年：高村寿子, 38(1)

投稿・活動レポート

開発途上国における喀痰塗抹陰性肺結核患者の確実な診断を目指して—胸部 X 線検査の精度管理の取り組み：伊達卓二・大角晃弘, 485(7)

投稿・資料

総合的な機能評価からみた「いきいきふれあい事業」参加者と一般高齢者集団の比較：福原円・谷原直子・町田真由美・海老原美保・若林珠江・阿江竜介・中村好一・大木いずみ・小野澤典子・佐藤朋弓, 777(11)

連 載

◆ リレー連載・列島ランナー

超高齢社会に挑む！—介護予防を推進する地域づくり：岡田尚, 56(1)

大規模災害時に向け地域力アップ—健康危機管理サポーター養成講座に取り組んで：日高橘子, 130(2)

被災地における保健師活動について—管内市町の伴走者として：花崎洋子, 213(3)

日常業務にある「事例」から実践能力の獲得を：守田孝恵, 283(4)

保健師の人材育成—保健師の技を伝える～：津田幸子, 358(5)

高齢化団地問題でみんなをつなぐ「緑のおばさん」：稲葉静代, 428(6)

ニャンとかしたい猫のフン—野良猫のフン害対策：和出幸江, 496(7)

今、保健所への期待が高まっている、それにどう応えるのか：柳尚夫, 571(8)

市町村に作業療法士が勤務していることを知っていますか：安本勝博, 644(9)

総社市高齢者プログラム：平野悦子, 719(10)

地域の元気を応援する専門職チーム「旭レインボー」

の活動：中越美渚，791(11)

住民と一緒に健康な地域づくりを一東日本大震災，福島第一原発事故被災から3年半：大石万里子，855(12)

◆【講座】健康で持続的な働き甲斐のある労働へ—新しい仕組みをつくろう

未来の労働者の健康・安全・生活を守るために：森岡孝二・久永直見，46(1)

企業の労働CSR強化の方向性と労使関係の今後の在り方—真に社会的パートナーになりうるには？：吾郷真一，121(2)

日本学会会議の提言が新しい労働雇用・労働安全衛生システムへと転換するために：改革の方向性・最近2年間の動き・その論点：岸(金堂)玲子，197(3)

◆この人に聞きたい

ストレッチングと健康な身体づくり：山本利春，42(1)

花粉症治療最前線—スギ・ヒノキ花粉飛散状況の変化と新たな治療戦略について：大久保公裕，116(2)

自殺対策は今：清水康之，193(3)

◆「笑門来健」笑う門には健康来る！～笑いを生かした健康づくり：大平哲也

笑いは増やすことができるのか？日常生活で笑いを増やす方法とは？：204(3)

◆公衆衛生 UP-TO-DATE

[国立環境研究所発信・その1]

地球温暖化の現状：高橋潔，51(1)

[国立医薬品食品衛生研究所発信・その1]

医薬品の発がん性不純物の評価と管理に関するガイドランス：阿曾幸男，125(2)

食品に含まれる放射性物質の調査：堤智昭，208(3)

[動物衛生研究所発信・その1]

家畜のインフルエンザ：彦野弘一・西藤岳彦，279(4)

[動物衛生研究所発信・その2]

BSEと人への伝達性：横山隆・筒井俊之，353(5)

[結核予防会結核研究所発信・その1]

低まん延下の効果的な結核対策：加藤誠也，424(6)

[結核予防会結核研究所発信・その2]

世界の結核問題の現状と今後の戦略：山田紀男，492(7)

[東京都健康安全研究センター発信]

違法(脱法)ドラッグ—試験検査の現場から：守安貴子，575(8)

◆衛生行政キーワード

予防接種制度の改正について：氏家無限，134(2)

自殺対策：伊東千絵子・河瀨譲・江副聡，288(4)

HIV/エイズ対策：西嶋康浩，432(6)

薬事法の改正—医療機器・再生医療等製品の実用化に向けて：古元重和，501(7)

オレンジプランの目指す認知症ケア：新美芳樹，722(10)

医療・介護サービスの制度改革—医療提供体制を中心に：西嶋康浩，852(12)

◆いま、世界では!? 公衆衛生の新しい流れ

自殺および自殺対策—WHOの活動：瀬戸屋雄太郎・中谷比呂樹，274(4)

NCDsに関する国際機関などの動向：佐原康之，348(5)

環境問題の変貌と新展開：戸高恵美子・森千里・中谷比呂樹，565(8)

都市部の高齢化に伴う課題と可能性：アレックス・ロス，638(9)

世界における認知症対策の動向：タルン・ドゥア 佐原康之 シェイカー・サクセナ，707(10)

◆基礎から学ぶ楽しい保健統計：中村好一

統計とは，712(10)

データの種類と特徴，782(11)

数量データの記述的解析，860(12)

コラム

◆予防と臨床のはざまで：福田洋

流行り目に罹患：221(3)

ためしてガッテンに学ぶ健康教育：293(4)

サクラサク謝恩会：365(5)

職域ヘルスプロモーショングローバルセミナー：437(6)

ライフスタイル研究と健康価値創造：509(7)

臨床疫学ゼミ新シーズン開始！：581(8)

さんば会月例会～メタボ・生活習慣病対策2014：651(9)

予防医療医の夏(前編)：725(10)

予防医療医の夏(後編)：797(11)

ヘルスリテラシー@台湾：869(12)

◆映画の時間：桜山豊夫

宇宙の暗闇を生き抜け—ゼロ・グラビティ：60(1)

グォさんの仮装大賞：137(2)

猫侍：219(3)

ワレサ 連帯の男：291(4)

みつばちの大地：364(5)

ラスト・ベガス：435(6)

浮城：507(7)

怪しい彼女：579(8)

ローマの教室で～我らの佳き日々～：649(9)

ミリオンダラー・アーム：727(10)

0.5 ミリ：795(11)

幸せのありか：867(12)

◆ **Let me explain it !**

保健文化賞の位置づけ：阿彦忠之，41(1)

◆ **公衆衛生「書評」**

濱田篤郎 編『トラベルクリニック 海外渡航者の診療指針』：尾内一信，187(3)

NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会 編 村上

須賀子，佐々木哲二郎，奥村晴彦 編集代表『医療福祉総合ガイドブック 2013 年度版』：宇都宮宏子，217(3)，278(4)

茨木保 著『ナイチンゲール伝 図説 看護覚え書とともに』：鈴木晃仁，415(6)

三宅薫 著『行って見て聞いた 精神科病院の保護室』：今村弥生，461(7)

内富庸介，大西秀樹，藤澤大介 監訳『がん患者心理療法ハンドブック』：鈴木伸一，478(7)

河野龍太郎 著『医療におけるヒューマンエラー なぜ間違える どう防ぐ 第2版』：浅香えみ子，563(8)

本田美和子，イヴ・ジネスト，ロゼット・マレスコッティ 著『ユマニチュード入門』：藤沼康樹，653(9)